

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1290900248		
法人名	アークエム株式会社		
事業所名	グループホームゆう希苑つかだ		
所在地	千葉県船橋市前貝塚444-1		
自己評価作成日	平成23年2月28日	評価結果市町村受理日	平成23年5月25日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://kaigo.chibakenshakyo.com/kaigosip/Top.do
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 日本高齢者介護協会		
所在地	東京都港区台場1-5-6-1307		
訪問調査日	平成23年4月12日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ご家族様や御入居者さまのコミュニケーションを大切にしながら笑顔のある穏やかな生活を築いていきたいと思っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

最寄駅から徒歩5分の閑静な住宅街に立地し、前に桜満開の公園がある環境に恵まれたホームです。このホームの良い点は、理念の完全実施を目指していることです。医療面では、毎週医師、歯科医の訪問診療を受ける体制になっており、看護師も週1回訪問する事になっています。ケアの面では、家庭的な雰囲気の中で、工夫をこらした手作り等利用者が能力に応じた自立した生活ができるよう支援しています。地域との交流も、家庭菜園の無料貸し出し、各種ボランティアの受け入れ等着実に地域に根ざして来ています。安全面では、スプリンクラーの設置、消防署立会い訓練年2回、自主訓練年1回実施し、現在地域の協力をお願いしています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き生きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。〕

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	玄関に理念をかかげてあり、ゆう希苑の理念の基にその人らしい生活が出来る様支援を心がけています。 毎朝申し送り時理念の唱和しています	理念を玄関に掲示し、パンフレットに方針として「地域コミュニティの中でその人らしく生活できるよう手助けする」を謳っています。職員は毎朝申し送り時に確認し、日常の支援の中で実践するように努めています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣の方との挨拶や会話に心がけており、野菜などもご近所の方が持ってきてくれたりしています。また移動パンやさんにもきてもらうようになりました。	町内会に加入し、町内会のクリーンデイ等の行事には積極的に参加しています。散歩時には挨拶を交わしたり、野菜の差し入れを受けたり、家庭菜園の無料貸し出しをしたりしています。各種ボランティアを受け入れる等、着実に地域に根ざして来ています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	町会のクリーンデーの参加しか今現在は出来ていませんが今後運動会などに参加したいとおもいます。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	今現在まだ2度の運営推進会議しかできていませんが、今後2ヶ月に1回の開催をするように努力いたします。 情報の交換、サービスの向上に努めています。	運営推進会議は、年2回、地域包括支援センター、町会長、家族代表、施設長、ケアマネジャーで開催しています。議題は、ホームの現状報告、活動報告、今後の予定等で、あまり活発に意見交換がされていない状況です。	議題には、従来のテーマの他に、・外部評価の説明と課題改善状況・介護関係の基礎知識説明・その時々々の課題等を追加して話し合い、サービスの向上に役立てることが望まれます。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議に参加いただき情報の交換や意見の交換するよう努めています。包括支援センターのかたとはよく連絡しています。グループホーム連絡会に参加し、市の方々との意見交換を行っています。	市担当には必要な都度報告し、相談にのって貰っています。運営推進会議には、必ず地域包括支援センターからの出席があり、アドバイスを受けています。グループホーム連絡会には積極的に参加し、出席する市担当から情報を収集し、サービスに役立てています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関の施錠はしていますが、職員の研修の参加や勉強会に取り組んでいます。 身体拘束0(ゼロ)運動を行っております。	身体拘束の排除宣言を謳い、マニュアルを備えており、職員は随時社内外の講習を受けています。玄関は、安全のため、家族会の了解を得て昼間も施錠していますが、外出の気配があれば、職員が一緒に付いて行くようにしています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修会の参加や勉強会に参加し、報告や発表を行い資料の回覧などをして防止に努めています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	日常生活自立支援対象になる人が現在見当たらないと考えられ、その時に対してホームページより資料をプリントし、学ぶようにします。 成年後見の方もおり、今後1名増える予定のため研修をおこなっております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご利用者の家族には十分説明の時間をとり、納得していただくような説明を行い、必ず施設の見学をしております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に投書箱の設置をしております。家族会を開いたり、面会に来られたときなどにも職員になんでもお話してもらえる雰囲気づくりをしています。	家族の来訪時に声をかけて意見、要望を聴き、運営に反映しています。又年2回の家族会や運営推進会議でも意見を聴き、サービスの向上に努めています。実施例としては、職員の写真紹介、引継ぎの徹底等があります。	家族会に出席できない、性格のためはっきり言えない、事柄の性質上言い難い等、家族により諸事情があるので、利用者別に連絡ノートを準備してはいかがかと思われれます。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月初めに職員会議を開催して話し合い、共有するよう勤めています。	管理者は、毎日の就業時や、カンファレンス、月1回の職員会議で、職員の意見を聞いて運営に反映するようにしています。実施例としては、洗濯機脇の水道施工、ウッドデッキの段差対策、センサー取り付け、ベッド・床の寝起き対応等があります。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	必要に応じて、面談や話し合いをもっています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	出来るだけ研修に参加してもらい順番に参加出来る様に努め、研修報告の回覧をしています。 個人面談も行い、スキルアップ向上を計る		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	GH連絡会の参加や研修に参加し、ネットワークづくりをしています。 意見交換も行っております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人の生活歴や生活を知り、必ず聞くようにしています。また日ごろより声かけや、対応をしています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の面会時やTELなどでお話したり、いつでも苑に来てもらえるよう話しております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	話し合いながらどのようなケアがよいか、必要なか対応するよう努めています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者の方が安心して楽しい生活が送れるようにし、掃除や食器洗いや洗濯たたみなど職員と一緒にしています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	外泊や食事にいかれる方もおります ご家族の方とは必要に応じて連絡をとっております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご入居以前の友人とふれあいサロンに出かける方もおります。 面会時間は決めずいつでも友人、知人が気軽に尋ねられるようにしています。	家族や知人が思い思いに自由に面会に来ており、利用者は家族と食事や美容院に行ったり、旅行を楽しんだりしています。また友人と地区の「ふれあいサロン」に行くことを楽しみにしている方もあります。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクレーションや作品作りに参加してもらえよう声掛けや係わりをもてるようにつとめています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院されたときはお見舞いに行きますが、退去された時は電話等で相談があれば対応しております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人、家族の話を基に気持ちに沿ったケアをして行くよう努め、困難な場合カンファレンスを開き話し合いをもっています。	利用者と共に服を選んだりレクリエーションをする中で、計算が得意であることや、お団子作りが上手なことがわかるなど、日々の暮らしの中から、本人の得意なこと好きなことなどを発見し、ケアに生かしています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人一人の思いを大切にするように努めています。又入居者の情報を見たりご本人の家族の方からの情報を得て努力しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	申し送りノートや日々の変化を見ながら現状の把握に努めています		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	アセスメントにしたがいカンファレンスを行い、変更があればすぐモニタリングを行い情報を参考に話し合い、介護計画の作成いかすようにしています。	本人・家族からの聞き取り、医師や居室担当職員の意見を基に介護計画作成担当者が計画を立てています。3ヶ月に一回カンファレンスをして計画を見直しているほか、変化があればその都度見直しています。	計画作成時に、本人・家族と共に達成可能な目標を立てる事が望まれます。自ら計画に関わっている事を意識化し、分かりやすい言葉で作成する事で、計画が更に身近で充実したものになると思われれます。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録の記入や連絡ノートなどをりようし、職員間の情報を得ながら介護計画の見直しに努めています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	訪問医師が入居者の方その状況に対して対応し寄りよい介護に取り組んでおります。又ボランティアの方によるサービスも取り入れ支援に努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアの協力や中学生のバイオリンや歌、ダンスなど日々の暮らしを支援しております。 12月より移動パンやさんも利用(第2、第4土曜日)		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	毎週訪問診療が来られています。また家族の方の意向によりそれぞれの医療機関で適切な医療が受けられるよう支援しています。	1、2階のフロア一別に隔週の訪問診療があり、変化時にも対応が出来る体制ができています。毎週訪問歯科診療と看護師の訪問により利用者の健康管理をしています。皮膚科・眼科などの専門医の受診は家族が対応しています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師(非常勤)がいる為、身体的変化や対応等相談を受ける事が出来ます。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院と密に連絡取り、入居者様の状態を家族と一緒に共有して相談しております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	長期の入院などを除き出来るだけホームにて生活出来るよう取り組んでおります。 家族の方には状況に応じ話し合い、又職員全体でも方針を共有しながら支援に努めています。	契約時に看取りに関する指針に基づき、重度化した場合の対応について、本人家族に説明し、同意を得ています。また終末期に対する意向を確認し、できるだけ意向に沿った対応をする旨を伝えていきます。	看取りに関しては、家族の協力が不可欠ですが、協力が得られない状況等様々な場面に柔軟に対応するために、職員の研修と医療機関との更なる連携が期待されます。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防署に依頼をして救命救急の訓練を行っております。 急変時のマニュアルを作成し、職員に勉強会を行っております。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署に依頼をして年1回の訓練を行っております。 地域とはまだ協力体制は取れていません。 備蓄品については3日分用意してあります。	消防署立会い年2回と自主訓練年1回の避難訓練を実施しています。消防署立会い時にはAEDを使った救命救急講習も受けています。スプリンクラー、消火器、火災報知器が設置され、緊急時の対応表、連絡先も掲示されています。非常用品も備蓄されています。	自主訓練は夜間も想定して行い、近くに住む職員や近所の方の参加も得て、実践的なものとする事が望まれます。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	居室に入るときの声掛けや、トイレ時の声掛けなど配慮しております。 その人に合ったプランに沿って介護を行っております。	トイレ誘導の声かけは本人だけに聞こえるよう小さな声でするなど、プライドを傷つけないように配慮しています。また居室に入る時にはノックし許可を得るなど、プライバシーを損ねないように心がけています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	散歩やレクリエーションなど強制するのではなく、入居者の様子を把握し話し合いながら行うようにしています。 全員に声掛けは行っております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者の様子で朝も規則にしばられず休みたい方は休み、その方のペースに合わせて調整しながら過ごし方を工夫しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	髪飾り、洋服の色など自分で決められる方は決めていただき、体温調節などにもきを配るようになっています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	出来る方には一緒に下ごしらえなどしてもらい、食器の片付けなど職員と一緒に声掛けしながらしています。	毎日その日のメニューをホワイトボードに書き、イラストを入れて食事についての会話を膨らませています。調理の下ごしらえや配下膳など、できることを見つけて職員と共に行っています。またおせちなどのイベントメニューなど食事を楽しむ工夫をしています	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	カロリー計算された食事が提供され身体状態にあわせ、刻みなど対応しています。 その日の体調にも気をつけて行っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを行い、治療の必要な方には訪問歯科の対応もしております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	オムツの方は一人もおりません。個人の排泄パターンを記録しトイレ誘導も個人対応しています。	排泄チェック表や日々の観察により、トイレ誘導のタイミングを調整して尿パッドをはずすための取り組みをしたり、失禁を防ぐための様々な工夫をしています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄表にて毎日確認し、運動、水分などにて予防していますが3日以上になると医師の指示にて内服するようにしています		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	1日おきの入浴で4~5名の方が入浴され、季節にあった取り組みもしています。(ゆず、しょうぶ等) 声掛けを必ず行いその人にあった入浴に取り組んでいます。	概ね午前中に入浴しており、失禁などで汚れたときはその都度保清に努めています。座位でシャワーが充分浴びられる設備を設置しており、浴槽に入れない方にも一般のシャワー浴以上の対応ができます。また衣類の着脱は時間がかかっても出来るだけ自分でやってもらうなど、自立を支援しています	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中居室にて休みたい方などは休み、その日の状態や変化に対応した支援をしています。 布団干しやリネンには気を付けております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人個人のくすりの用法、効果、注意書きがすぐにわかるようにしています。 服薬前の名前の確認など安全に気を付けています。服薬されるまで職員対応。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	季節にあった行事、ボランティアの方々にも入って頂き、変化のあるようにしています。 小物作りや、裁縫など職員と一緒にしています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	苑の前が公園の為、天気がよく暖かな日は散歩に出かけています。ふれあいサロンに出掛けたりしていますが、地域の方の協力体制はできていません。 春には弁当を持ち、公園での花見の計画を立てています。	遠出は行っていませんが、天気の良い日の散歩やスーパーへの買い物、銀行に行くなど、利用者に合わせた外出をしています。車で外出に出かけるなど要望を取り入れながら外出を支援しています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人が所持している方も居ます。移動パンやさんに来てもらえるようになり、楽しく買い物をしています。ご家族の方からのお預かり金は出納帳に記入しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話はいつも使用できる状態にしてあります。 年賀状、暑中見舞い、など書ける方には書いてもらっています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	フロアは季節の飾りつけなど職員とともに 行い、トイレのまえに暖簾を下げたりしています。(ドアを開けたままの方がいる為)季節の花も楽しめる工夫もしています。	リビングは日当たりがよく、清潔で、ゆったりとしており、利用者が快適に過ごせるよう配慮されています。季節の花が飾られ、行事写真が貼られ、職員、利用者合作の手作りカレンダー、折紙人形等があり、家庭的な雰囲気の中で、利用者、職員と一緒に鯉のぼり作りに取り組んでいたのが印象的でした。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合う仲間とお茶を飲んだりしてソファ、和室にてくつろいだりしています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご自宅から持ってこられたダンスや馴染みのものを置き、写真や自分の作品など飾られている方もおり、思い思い楽しんでいます。	利用者は、各自なじみの物を自分の部屋に持ち込み、自分の家にいるように居心地よく過ごしています。衣替えは、原則家族にお願いしていますが、出来ない場合は職員がしています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下や出入り口には物をおかないように安全に心掛けて、洗面道具など手の届くところに置くようにしています。		